

## 畜産・酪農生産力強化対策事業

【1,000百万円】

### 対策のポイント

畜産・酪農の生産力強化を図るため、性判別技術を活用した優良な乳用後継牛の確保及び受精卵移植技術を活用した和牛主体の肉用子牛の生産拡大、畜産経営におけるICT等の新技術を活用した繁殖性の向上、新技術を活用した改良等による種豚の生産性の向上等の取組を支援します。

### <背景/課題>

- ・「総合的なTPP等関連政策大綱」、「農業競争力強化プログラム」に即し、畜産・酪農の生産力を強化するためには、優良な乳用後継牛の確保及び和牛主体の肉用子牛の生産拡大を通じた酪農経営の収入増と、和牛繁殖経営の繁殖性の向上を推進していくことが必要です。
- ・また、国産豚肉の競争力強化を図るため、養豚業の基礎となる種豚の生産性向上等を図る必要があります。

### 政策目標

- 生乳の生産量 (745万t (平成25年度) → 750万t (平成37年度))
- 牛肉の生産量 (51万t (平成25年度) → 52万t (平成37年度))
- 豚肉の生産量 (131万t (平成25年度) → 131万t (平成37年度))

### <主な内容>

畜産・酪農の生産力の強化を図るため、以下の事業を支援します。  
また、基金方式により複数年度の事業実施を可能とするなど弾力的な運用を行います。

#### 1. 酪農経営改善対策

酪農経営における優良な乳用後継牛の確保や和子牛の生産拡大等を進めるため、畜産クラスター計画に基づく以下の取組を支援します。

- (1) 性判別精液・受精卵を活用した優良な乳用後継牛の確保、和牛受精卵を活用した和子牛生産の拡大等の経営改善に向けた計画的な取組
- (2) 和牛受精卵等の生産拠点の機器整備
- (3) 性判別精液生産機器等の導入
- (4) 受精卵移植技術の高位平準化を進めるための実技研修会等の開催

#### 2. 繁殖性等向上対策

乳用後継牛及び和牛繁殖雌牛を効率的に生産するため、畜産クラスター計画に基づく以下の取組を支援します。

- (1) 和牛繁殖経営におけるICT等の新技術（情報通信技術も利用した発情発見装置等）を活用した繁殖性の向上等を図るための取組
- (2) 子牛の損耗防止等を図るため、地域において新技術を活用した取組等（健康状態を把握するための血液検査、監視装置等による分娩事故の防止等）への支援

#### 3. 養豚競争力強化対策

養豚業の基礎となる種豚の生産性向上等を図るため、以下の取組を支援します。

- (1) 飼料利用性を測定するための機器導入
- (2) 肉質を測定するための機器導入
- (3) 飼養衛生管理の高度化を図るための機器導入
- (4) 凍結精液の製造に必要な機器導入

#### 4. 家畜生産性向上対策

家畜の改良増殖目標の達成等のため、家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための技術指導等の取組を支援します。

補助率：基金管理団体へは定額（支援対象者へは定額、1/2以内）  
基金管理団体：民間団体  
支援対象者：畜産クラスター協議会に位置づけられた団体の構成員である農業者等

[お問い合わせ先：生産局畜産振興課 (03-6744-2587)]

# 畜産・酪農生産力強化対策事業(基金)

【平成29年度補正予算額：1,000百万円】

- 酪農経営においては、交雑種の生産が増加する一方で、乳用後継牛が減少しており、和牛繁殖経営においても、高齢化の進展や繁殖成績の低下等により和子牛の生産が減少
- このため、性判別技術を活用した優良な乳用後継牛の確保及び受精卵移植技術を活用した和牛主体の肉用子牛の生産拡大を図る取組等を推進
- 国産豚肉の競争力を強化するため、種豚の生産性向上等を図る取組を推進

## ■ 優良な乳用後継牛の確保及び和牛主体の肉用子牛の生産拡大(拡充)

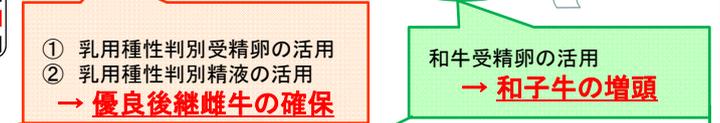
- 性判別精液・受精卵を活用した優良乳用後継牛の確保、和牛受精卵を活用した和子牛の生産拡大等の経営改善に向けた計画的な取組



- 補助率 1/2 以内。ただし、
- ・乳用牛性判別受精卵 : 1頭当たり上限 100,000円
  - ・乳用牛性判別精液 : 1頭当たり上限 6,000円
  - NEW** 高受胎率乳用牛性判別精液 : 1頭当たり上限 10,000円
  - ・和牛受精卵 : 1頭当たり上限 70,000円

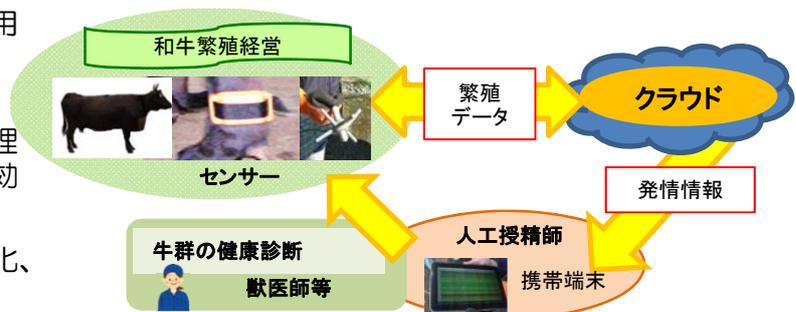


- 和牛受精卵等の生産拠点の機器整備
- 性判別精液生産機器等の導入
- 受精卵移植技術の高位平準化を進めるための実技研修会等の開催



## ■ ICT等を活用した繁殖性の向上等

- 情報通信技術（ICT）等を活用した繁殖性の向上等を図るための機器の導入
- 農家の生産・経営情報の一元管理によるデータに基づく飼養管理の効率化・高度化
- 地域の畜産技術者等の技術力強化、子牛の損耗防止など地域における技術的な課題の解決



## ■ 養豚業の基礎となる種豚の生産性の向上等(拡充)

- 飼料利用性を測定するための機器導入
- 肉質を測定するための機器導入
- 飼養衛生管理の高度化を図るための機器導入

**NEW** 凍結精液の製造に必要な機器導入



畜舎消毒洗浄ロボット



凍結精液急速冷凍器

## ■ 家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための技術指導等

- 生産性のデータ収集・分析に基づいた技術指導や現地講習会の開催

〔 支援対象者：畜産クラスター協議会に位置づけられた団体の構成員である農業者等 〕